

ほほえみ

No.83

蘭越町社会福祉協議会
令和7年3月1日

「赤い羽根自動販売機」が町内3ヶ所に設置されています！

蘭越町共同募金委員会では、売り上げの一部が赤い羽根共同募金へ寄附される「赤い羽根自動販売機」の設置を進めています。
飲み物1本から気軽にできる、身近な社会貢献活動の一環としてご協力をお願いします！

令和6年度9月～12月
赤い羽根自販機による
寄附金額 7,061円



設置場所
・蘭越町役場庁舎内1階
・道の駅らんこし・ふるさとの丘
・道の駅シェルプラザ・港

「赤い羽根自動販売機」を 設置してくださる事業所を募集しています。

蘭越町の福祉活動を支援する社会貢献・地域貢献活動の一環として、自販機の新規設置・入替設置をぜひご検討ください。(設置・入替は無料で、電気代が月々2000～3000円の負担となります)

☆お問い合わせは、
蘭越町共同募金委員会(蘭越町社会福祉協議会) ☎57-5203

ボランティア 登録者募集中！

お気軽にお問い合わせください

蘭越町ボランティアセンター

蘭越町8番地2
ふれあいプラザ21内

57-5203

令和6年度の学童・児童ボランティア活動についてご紹介

毎年、町内4校へのボランティア活動助成により各校で様々なボランティアが行われており、子供たちも地域社会の一員として活動してくれています。

～蘭越小学校～

- ・緑の羽募金運動
- ・あいさつ運動(ボランティア意識高揚運動)
- ・学校行事への招待活動
- ・紙製募金箱作成ボランティア活動

～昆布小学校～

- ・収集ボランティア活動
- ・学校周辺のクリーン作戦
- ・赤い羽根募金活動
- ・学芸会への招待



～蘭越中学校～

- ・緑の羽募金運動
- ・地域行事への協力
- ・福祉施設訪問
- ・赤い羽根街頭募金活動



～蘭越高等学校～

- ・清掃ボランティア活動
- ・赤い羽根募金活動
- ・高齢者、町内施設入所者へ年賀状作成
- ・除雪ボランティア活動

思いやり

豊かな心

社会奉仕

災害義援金状況

○令和6年能登半島地震災害義援金 募金期間 令和7年12月26日まで
令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生し、複数の市町村に災害救助法が適用されました。

蘭越町共同募金委員会に寄せられた募金額 341,071円

○令和6年7月大雨災害義援金 募金期間 終了
令和6年7月24日からの大雨により、東北地方において洪水や河川氾濫等による人的及び家屋への甚大な被害が発生し、秋田県・山形県の市町村に災害救助法が適用されました。

蘭越町共同募金委員会に寄せられた募金額 12,010円

○令和6年能登豪雨災害義援金 募金期間 令和7年12月26日まで
令和6年9月21日の大雨に伴う災害により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、3市3町(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、鳳珠郡穴水町、鳳珠郡能登町)で災害救助法が適用されました。

蘭越町共同募金委員会に寄せられた募金額 69,245円

～杜協災害ボランティアセンターより～

●災害時の備品について

- ・災害用エアマット【令和5年度に配置】
- ・備蓄用品【令和6年度に配置】
- ・初期防災セット【令和6年度に配置】



●北海道地域防災マスター認定講習終了者

北海道では、ボランティアにより、防災研修や災害への備えなどの防災に関する普及啓発等を行い、災害時は避難誘導や避難所の運営などにおいて中心となって活動いただける方を「北海道地域防災マスター」として認定し当協議会では2名の職員が登録しております。

○日野 一也総務係長【令和5年1月27日】

○佐々木脩太総務係主任【令和5年10月14日】

*蘭越町内では12名が認定者として登録されております。

*令和7年度に実施される防災マスター認定講習会に参加希望の方は、事前にボランティアセンターまで連絡願います。

●災害ボランティアセンターの財源

①災害等準備金（赤い羽根共同募金）

共同募金の3%が積み立てられており、全国の共同募金会が災害等準備金を拠出し、被災地を支援します。

②災害救助費（国庫補助金）

救助とボランティア活動の調整に必要な人件費および旅費が災害救助法の国庫補助の対象です。

③町からの委託費・補助金

町との協定に基づいて、町からの委託費や補助金により災害ボランティアセンターの運営に必要な経費が負担されます。

④社会福祉協議会の財源（災害時積立金）

当社会福祉協議会は、災害時において使用できる災害時対応積立金を保有しております。

社会福祉施設へコカ・コーラ製品贈呈

12月に北海道コカ・コーラボトリング株式会社のCSR活動（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）としてペットボトルジュース等の寄贈を受けました。

当会へのこの活動は平成24年から毎年続いており、一灯園・グループホームらんこし・愛星学園・高齢者センターめな・こんぶの5施設の入所者及び職員の方々へお届けいたしました。



昆布給食ボランティアの会が厚生労働大臣感謝状を受賞

昆布給食ボランティアの会は、月1回のお弁当調理を20年以上行っており、その永年の功績により厚生労働大臣表彰を受け、北海道新聞に掲載されました。北海道から大臣表彰3団体が受賞されました。

20250110 道央（小樽・後志）

「昆布給食」に大臣表彰

蘭越 高齢者らへ弁当作り20年

【蘭越】20年以上にわたり、高齢者らに弁当を作る活動を続けている町内の「昆布給食ボランティアの会」が、献身的な取り組みが評価され、ボランティア功労者として本年度の厚生労働大臣表彰を受けた。メンバーは「今後の励みになる。何年も続けていきたい」と喜んでいる。

同会は町昆布地区を拠点に2001年の設立以来、月1回、1人暮らし

高齢者に届ける弁当を手作りする「昆布給食ボランティアの会」のメンバー

の高齢者らを対象に夕食の弁当作りを行っている。現在は60～70代の主婦ら15人が所属。町保健福祉センターの厨房で約120食を手がけ、町社会福祉協議会や町の職員らも協力し、町内全域に配達している。

食材は「らんこし米」をはじめとする地産産品にこだわり、栄養バランスや彩りに加え、飲み込みやすさにも配慮する。1食の料金は100円。配

感謝状

星野食品ボランティアの会 殿
貴団体のボランティア活動の誠意と、共に支えあう地域社会づくりに貢献され、その功績は誠に顕著なものが、あります。

よび、ここに感謝の意を表します。

令和六年十月二十六日
厚生労働大臣 福田 資彦

達時には高齢者と直接顔を合わせるため、安否確認や話し相手の役割も担っているという。

町役場で7日、渡辺貴教育長から同会の佐藤千鶴子代表（67）らに厚生労働大臣感謝状が手渡された。佐藤代表は「手作りの、心のこもったお弁当をこれからも楽しみにしてほしい」と笑顔で話した。

同会は性別を問わずメンバーを募集している。問い合わせは町社協、電話0136・57・5203へ。

（加藤蓮花）

©北海道新聞社

ボランティア蘭越支部ボランティア活動

11月5日（火）、ボランティア蘭越支部会員15名で布切り作業を行いました。この活動は、年1～2回実施されており、この日は午後から2時間程度の作業が行われ、終了後に参加された会員で記念撮影をしました。

また、ボランティア蘭越支部ではこの他にもデイサービスボランティア活動なども行っております。興味がある方は会員を随時募集しておりますので、お気軽に社会福祉協議会（57-5203）までご連絡ください。

